

台風19号 各地での支援活動のご報告と募金のお願い

グリーンコープ共同体

15都県に及ぶ広範囲に甚大な被害をもたらした台風19号は、グリーンコープの産直生産者やお取引先工場にも甚大な被害をもたらしました。

10月14日～2月1日までに集まった支援募金は約5,100万円と、たくさんのご協力をいただいています。本当にありがとうございます。またお取引先の皆さまからも100万円を超える支援金をいただいています。皆さまから寄せられた支援募金は被害を受けた生産者やお取引先、そして被災された皆さんへの支援に活用させていただきます。

被害は甚大で、継続した支援が必要です。引き続き、災害支援募金へのご協力をお願いします。

～引き続き支援を行っていきます～

東日本大震災の被災地でも台風19号、台風21号の被害が発生しています。早期復興が東日本大震災の被災地を応援することに繋がります。

<宮城県丸森町>

2月1日（土）に、宮城県丸森町で床上浸水した「たんぼぼこども園」の片付けの応援を、共生地域創造財団メンバーとグリーンコープ職員で行いました。



現在、たんぼぼこども園の園児は、近隣のひまわりこども園に同居され、運営されています。総勢で約300名の子ども園になっており、スペース的にも運営が厳しい状況にあり、被害を受けた園舎を取り壊すか、修理するかの検討がされ、修理される事になっています。修理完了までの間の運営問題があり、プレハブ仮設の園舎をつくり運営されることになり、そのプレハブ仮設の園舎が1月末に完成し、2月中旬からの運営開始に向けて準備が進められていました。

また、たんぼぼこども園の修理に向けて、床上浸水した園舎内の備品の片付け、廃棄、保管作業を先生、父兄の皆さんと一緒に共生地域創造財団メンバー3名とグリーンコープ職員1名で行ってきました。

ひまわり、たんぼぼこども園に、組合員からの追加の絵本が届けられ、とても喜ばれていました。

東北の寒い時期にプレハブ仮設での運用で、少し不安もあるようでしたが、先生方も父兄の皆さんも子供たちのために協力して頑張られていました。今後も寄った支援を行っていきたいと思います。



台風19号災害支援募金

専用申込書に印字しています。数量（口数）を記入ください。

【例】一口200円を数量欄に「2」と申し込まれた場合400円のカンパとして受け付けさせていただきます。

申込
番号

010

一口200円

011

一口500円

QRコードをスマートフォンのバーコードリーダー等のアプリを使って読み込んでください。グリーンコープ災害支援の内容はInstagram「災害支援 by グリーンコープ」にて日々配信しております。



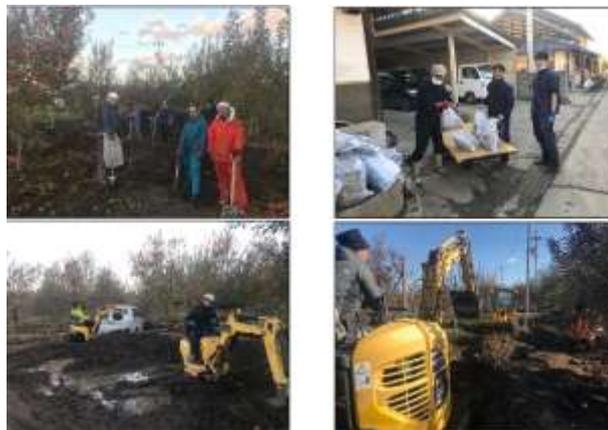
……来年はおいしいりんごを届ける！……

【青果生産者、お取引先によるこれまでの支援】

1月30日グリーンコープ産直青果生産者の会技術交流会にハケタ会の北澤会長と小林さんが参加され、青果生産者の皆さんに支援のお礼を述べられました。グリーンコープ産直青果生産者の会は仲間の窮状にいち早く駆けつけ、重機を使ったりりんご畑の土砂出しや炊き出しなど延べ33名、141日に及ぶ支援に取り組みました。



お礼のあいさつをするハケタ会北澤会長（左）と小林さん（右）



青果生産者による支援の様子

【職員・ワーカーズによるこれまでの支援】

延べ40人、198日になります。日常の業務をこなしながらの支援は大変でしたが、グリーンコープ15単協で力を合わせ、支援物資のお届けや土砂出し作業、炊き出しなどを行いました。



【組合員によるこれまでの支援】

2回にわたり延べ6名が訪問しました。炊き出しや水をかぶったりんご落とし作業はもちろんですが、多額のカンパを寄せてくださったグリーンコープ組合員の気持ちを生産者の皆さんにお届けしました。

被災された生産者の皆さんより「人に頼ることも大切だと考えさせられた」「すべてを失ってしまい、再びりんごを作ることができるか、再建に向けて踏み出すかどうか悩んだが、またおいしいりんごを届けたい、りんごを届けることで恩返しをしたいと思えるようになった」、そんな言葉をいただきました。



各単協理事長による炊き出し支援



長野県の生産者の皆さんと
グリーンコープ共同体理事長会メンバー

これからの支援

生産者の皆さんとグリーンコープで今後に向けた話し合いをしました。5月にリンゴの花が無事に開花すれば今年の収穫のめどがつかますので、まずは少しでも多くの花が咲くように支援を続けることにしました。

冬のあいだ、産地では3月まで枝の剪定作業が続きます。これはどの枝にも日光が当たるように余分な枝を切り落とす重要な作業で、熟練が必要です。グリーンコープは当面月に1回1週間のペースで復興に向けたお手伝いに入ることになりました。また冠水して使えなくなった農機具の購入など、さまざまな支援についても話し合いました。



枝の剪定作業と

りんごの花